



東横イン      旭川駅

乗車区間	運賃	乗車区間	運賃
旭川	930	旭川	930
山別	360	山別	360
美幌	1,270	美幌	1,270
旭川西条	170	旭川西条	170
山別	840	山別	840
美幌	640	美幌	640
旭川西条	1,270	旭川西条	1,270
旭川西条	170	旭川西条	170
山別	1,450	山別	1,450
美幌	930	美幌	930
旭川西条	540	旭川西条	540
山別	230	山別	230
美幌	1,640	美幌	1,640
旭川西条	230	旭川西条	230
山別	210	山別	210
美幌	260	美幌	260
旭川西条	930	旭川西条	930
山別	230	山別	230
美幌	1,270	美幌	1,270
旭川西条	450	旭川西条	450
山別	540	山別	540
美幌	230	美幌	230
旭川西条	1,450	旭川西条	1,450
山別	930	山別	930
美幌	360	美幌	360
旭川西条	1,450	旭川西条	1,450
山別	640	山別	640
美幌	2,050	美幌	2,050
旭川西条	1,450	旭川西条	1,450
山別	640	山別	640
美幌	1,070	美幌	1,070
旭川西条	260	旭川西条	260
山別	1,450	山別	1,450
美幌	210	美幌	210
旭川西条	230	旭川西条	230
山別	260	山別	260
美幌	1,640	美幌	1,640
旭川西条	740	旭川西条	740
山別	1,450	山別	1,450
美幌	450	美幌	450
旭川西条	1,640	旭川西条	1,640
山別	740	山別	740
美幌	1,450	美幌	1,450
旭川西条	360	旭川西条	360



旭川駅

鉄道の左側を歩く。閑静な住宅街が続いていた。7時51分、前方を空知川が立ち塞がる。鉄道を潜り、陸橋を探すが見つからないのを確認して引き返す。10分ロスする。8時4分原点に戻り、鉄道の左側で陸橋を探す。歩いた結果、土手歩きが橋に出る最も近道であったが、土手に沿った幹線道路を歩くこととなる。それ故、相当遠回り(3割増し)となる。

8時26分、橋につながる国道12号線に出る。



滝川駅



滝川駅から少し先



空知大橋（直線道路の中）

8時28分、迂回完了し、721歩ある空知大橋を渡る。橋を渡るや否や鉄道に近づくための道路を歩くが、大きく遠回りとなる。後で考えると、この辺りから日本一長い直線道路がスタートしたのであろう。9時1分、創流橋（そうりゅう）を渡る。



義経橋



弁慶橋

9時12分、国道に戻る。この辺りから直線道路に突入していることを実感する。9時17分、126歩ある小藤橋、大藤橋を渡る。9時20分、JR線を横切り鉄道の右側となる。9時24分、上り電車が通過して行く。9時37分、札幌82kmの看板を目にする。165歩ある義経橋（ペンケ歌志内川）を渡る。10時3分、今度は45歩ある弁慶橋（ペンケスナ川）を渡る。

10時17分、やっと本日の最初の踏破駅である砂川駅に到着する。駅前には小学生の集まりがあった。遠足だろうか。10時30分、前方をリスが横切る。10時32分、砂川警察署前を通過。10時39分、高野山真言宗弘法寺前を通過。10時57分、62歩の奈江豊平橋（奈江豊平川）を横切る。11時11分、36歩ある豊沼橋を通過。表示があいまいな豊沼駅には11時18分到着。この駅は国道12号線には面しておらず、6号線踏切を横切り、鉄道の左側を300m位歩いた先にあった。豊沼駅には引き返さず、線路に極力近いところを歩く。



砂川駅

豊沼駅

11時28分、踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。11時35分、99歩ある奈江橋（豊沼奈江川）を渡る。11時38分、「58629SL」前を通過。11時40分、奈井江町へ入る。11時51分、札幌74km、岩見沢31km、美唄13kmの道路標識前を通過。



ハウスヤルピ奈井江

12時21分、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」で昼食とする。“おむすびころりん”で出来立てのおにぎりを頂く。“しやけ”と“おかか”のおむすびはとても美味しかった。17分休憩し、一直線道路のど真ん中にある奈井江駅を目指す。12時50分、札幌72kmの看板前を通過。12時58分、奈井江駅に到着する。駅前にはピアノやバイオリンの楽器の像があった。



奈井江駅

13時6分、77歩ある奈井江橋（奈井江川）を渡る。13時36分、39歩ある栄橋（十四号川）を渡る。13時50分、茶志内川を渡る。13時53分、美唄市へ。14時31分、十三号川を越える。14時31分、美唄市茶志内という地名に到達。この看板は「駅近し」を予感させてくれた。14時38分、目標の半分の茶志内駅に到着し、やっと滝川駅から21.7kmに達する。しかし、あと岩見沢まで21.2kmある。遅くとも21時までに岩見沢駅に到達したいものである。21時5分発の小樽行き電車に乗るためである。



茶志内駅 美唄駅

14時43分、南茶志内神社前を通過。14時36分、札幌65km、江別43km、岩見沢23kmの地点に達する。この調子だと岩見沢到着は早くも20時半頃だろう。ピッチを上げねば…。14時50分、私の頭上を2羽のカラスがつきまとう。それにしても今回のシリーズはカラスとの対面が多いのが印象的だ。14時51分、産化美唄川、15時6分、美唄川と渡る。15時20分、やっと自動販売機と対面し、からからとなりかけた喉を潤す。15時31分、美唄警察署前を通過。15時46分、近代的な駅舎をもつ美唄駅に到着する。駅前に神秘的なモニュメントがあった。ある寺の前に親鸞の教訓があった。感動したのでメモする。「体験を超えて／歴史を学ぶわ／古の智慧なり」と。16時8分、札幌まで60kmの地点に達する。16時12分、78歩ある美唄橋（美唄川）渡る。



直線道路日本一

この近郊で直線道路日本一の看板を目にする。加えて、16時23分、美唄～奈井江～砂川～滝川までの直線道路の距離は何と29.2kmとの標識を目にする。この標識の通り、道路は石狩平野の中を真っ直ぐ続いていた。それに沿って鉄道も平行して走っていた。北海道の雄大さをここでも感じる。16時47分、昭和ハイヤーの営業所前を通過。直線道路は中の沢橋（16時50分）で終了する。16時53分、その先の道路で鉄道を渡る。左側を以降岩見沢まで歩くこととなる。橋を渡って暫く行った先に、光珠内駅があると思ったがその駅を発見できず。途中、光珠内という交差点があった。恐らくその近郊であろう。見通しのいいエリアであっただけに、光珠内駅の未踏破は非常に残念であった。このシリーズ、伊納駅に引き続き2度目のミスとなった。



直線道路の終着界限



未踏破の光珠内駅

17時14分、岩見沢14km、札幌56kmの道路標識前に到達する。18時2分、峰延橋を通過。ここで光珠内駅の未踏破が確定する。18時8分、峰延駅に到着する。



峰延駅

家内に電話を入れる。孫が熱を出したとのことで、長男宅にお邪魔しているとのことであつた。あと岩見沢まで営業キロは8.4kmである。何とか20時半頃には到着できそうなのでほっとする。18時28分、御幸橋を通過。この橋を見ると、非常にお世話になった義理の父を思い出す。また、1か月前、他界した愛犬セブンの頭を撫でていた姿も昨日のように思い出された。18時37分、工事中の道路の中にあつた。改めて起伏の激しい道路は非常に歩きにくいし、疲れかけた足に一層の負担が加わつた。18時39分、下り電車が通過して行く。西日がとても綺麗であつた。これから30分位、何時夕日が沈むかを気にしながらの歩きとなる。19時5分、松橋から夕日を堪能する。



松橋からの夕日

19時14分頃日没となる。日没とともに上着を着る。19時26分、岡山橋（幾春別川）を通過する。19時36分、辺りはすっかり暗くなる。19時45分、ダイナム前を通過。19時47分、豊年橋。19時50分、見晴橋を通過する。この近郊でジョギング姿の若者の二人（男女）と対面する。このシリーズ、それにしても自転車野郎、ジョギングそしてカラスとよく対面する。19時52分。純春別バス停前を通過。暗いため、何人もの人に聞いてやっと岩見沢駅には20時47分到着。20時39分、駅前のセブンイレブン（岩見沢一条店）でアイスと菓子パンを購入（323円）する。21時5分発の小樽行きの電車で札幌駅（21時47分到着）へ。岩見沢から札幌間はパスモ等が使えらるとのことです。菓子パンを忘れそ

うになるが、またもお守りのセブンにより助けてもらう。電車の中で、東横インから宿泊の確認の電話が入る。「今岩見沢を出たところです。宜しくお願いします」と回答。札幌東横イン前のセブンイレブンで夕食（487円）を購入後、ホテルへ。ホテルには22時7分に到着。本日の営業キロは42.9km、万歩計は66,517歩であった。久しぶりに40kmを踏破する。予想より万歩計が1万歩位少ない感じであった。本日の昼食代が350円、夕食は673円であった。



幾春別川



岩見沢駅



札幌駅へ

## 第8節 7日目：6月27日（金） 晴れ、強風

4時頃起床し、5時過ぎ早朝の札幌市内を散策する。時計台の直ぐ近くで、5時のチャイムを聴く。5時7分、6月21日（土）夕方長嶋氏に連れて行ってもらった小料理屋「こふじ」をデジカメに収める。5時28分、大通公園を散策する。この通りはJR線に平行して走っていた。公園の片隅の石川啄木歌碑があった。「ことして幅広き街の／秋の夜の／玉蜀黍の焼くるにおいよ」この公園も大学時代の旅行で立ち寄ったので懐かしかった。5時44分、北海道道庁に到着。そして、札幌駅南口（5時52分）を經由し、6時過ぎホテルに到着。朝風呂に入り、ロビーで朝食を摂り、7時23分ホテルを出る。札幌7時34分の岩見沢行の電車から岩見沢に向かう。本日は、18時、再度長嶋さんとの懇親会があり、16時を目途に適当な駅でアップする段取りで臨む。



札幌時計台



お世話になった“こふじ” 大通公園



石川啄木像 道庁



岩見沢には8時20分到着。創刊号執筆の際お礼で頂いたSuicaを活用(運賃は640円)し、岩見沢へ。朝の岩見沢駅を種々のアングルからデジカメに収める。駅前の通りは足にやさしかった。歩道には鳩を描いた画像を埋め込んだところがあった。8時55分、国道12号線につながる4条通りを歩く。それにしても北海道は条が多い。札幌、旭川しかり。9時

15分、大和簡易郵便局前を通過。9時22分、行き止まりの先が国道12号線に連結していた。9時30分、上幌向橋を通過。9時37分、非電化の単線の室蘭本線下を潜る。9時55分、本日最初の上幌向駅に到着。10時5分、札幌39km、江別16kmの道路標識前を通過。10時42分、下り電車と対面する。10時45分、強風で帽子が飛ばされる。色々俳句を考えながら歩く。「夢あらし 緑の大地 いま蘭留」

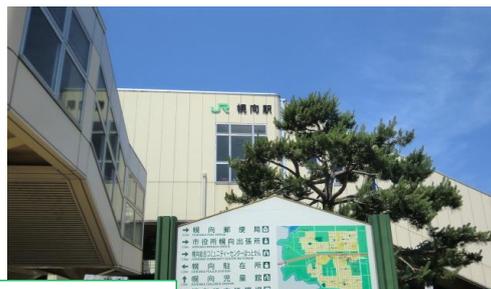


岩見沢駅



室蘭本線 上幌向駅

11時22分、北大学力増進会前を通過。11時27分、松が印象的な幌向駅に到着する。遊歩道に沿って花壇が続いていた。



幌向駅

11時44分。札幌32km、江別9kmの道路標識前を通過。益々風が強くなる。11時49分、53歩ある幌向橋（日幌向川）を渡る。12時23分、ローマ字表示の豊幌駅に到着。ローマ字表示のみの駅舎と対面したのは初めての経験。



岩見沢市との別れ 豊幌駅

ここから6.2km先の江別まで、自動販売のない民家がない丘のような道路を歩く。帽子が飛ばされないよう用心して歩く。13時豊幌こ線橋を渡る。13時3分、618歩ある江別大橋（夕張川）を渡る。この川は石狩川にもつながっていた。13時42分、石狩川土手を歩く。まもなく行くと、JR線の向うには民家、そして国道、土手、川のポジションとなる風景が広がっていた。14時5分、土手歩きが終わる。14時18分、新江別橋（千歳川）を渡る。道路は大きく螺旋状を描く。14時20分、王子交差点を通過。14時30分、江別駅前公園に面した江別駅に到着。この近くに立命館の姉妹校である慶祥高校があるとのこと。14時47分、12号線に戻る。14時55分、CoCo 壺番屋があったので、遅い昼食（669円）を摂る。いつもの通り一辛の野菜カレーを注文する。ここで15分位休憩。



江別大橋 江別駅

15時13分、高砂町交差点を通過。15時20分、丸亀製麺前を通過。木々の陰でもう少し未踏破になりそうになった高砂駅には15時38分到着。しかし、500m位行き過ぎていた。この駅から道なりに歩いた先に野幌駅（16時）があった。次の大麻駅までは営業キロは3.4kmで17時を過ぎる恐れもあるので、少し早いがこの駅でアップする。野幌駅に到着する頃には曇り空になっていた。16時16分の電車で札幌に戻る。運賃はSuicaで360円要す。札幌駅には16時38分到着、札幌駅構内でコインロッカーの下見をする。一番安いコインロッカーは400円であった。16時56分、14階建ての東横イン札幌駅北口ホテル（1202号

室)に戻る。本日の営業キロは22.7km、万歩計は38,581歩であった。ホテルで汗を流し、18時ホテルのロビーで長嶋氏と再会。すすき野界隈の郷土料理(〇〇〇〇)と1週間前に立ち寄ったスナック弓で22時位まで懇談する。これまでの旅行の報告をお土産にして。



CoCo 壺番屋



高砂駅界隈



高砂駅



野幌駅

## 第9節 8日目：6月28日(土) 晴れ一時小雨

北海道鉄道つたい歩きの旅の最後は、野幌(のっぽろ)から札幌までの17.9kmに挑戦する。昨日と同様、4時頃起床し、最後の仕上げ作戦を練る。朝風呂に入り、ロビーで朝食を摂り、ホテルを7時25分チェックアウト。荷物はコインロッカーには預けず、リュックを背負って臨む。札幌発7時34分の電車で野幌駅へ。運賃はスイカで360円要する。7時58分、野幌駅(南口)より歩きかける。この駅は線路が高架された洒落た駅舎であった。



札幌駅

野幌駅

